

原料費調整制度に基づく2021年2月検針分ガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき2021年2月検針分の原料費調整単価を**-27.9円/m³(税別)**とさせていただきます。
(前月比+6.4円/m³(税別)調整させていただきます。)

これにより2021年2月の平均的なガス使用量(10m³/月)では2021年1月検針分のガス料金に比べて**64円(税別)**の値上げとなります。

●原料費調整内容(基準料金表)

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,650円(税別)	0m ³ から5m ³ まで	490円/m ³ (税別)	-27.9円/m³(税別)
	5m ³ をこえて20m ³ まで	440円/m ³ (税別)	
	20m ³ をこえて30m ³ まで	420円/m ³ (税別)	
	30m ³ をこえて40m ³ まで	380円/m ³ (税別)	
	40m ³ をこえる場合	340円/m ³ (税別)	

※アパート等賃貸住宅にて弊社負担の消費設備等をお客様に貸与している場合またはメンテナンス契約対象の消費設備をご利用いただいている場合、基本料金とは別に「設備使用料」850円(税別)計上させていただきます。

●平均的なガス使用量

月間ガス使用量	2021年1月ガス料金(税込)<A>	2022年2月ガス料金(税込)	前月比
10.0m ³	6,553円(税込)	6,623円(税込)	+70円(税込)

●原料価格など指標の推移

	10月	11月	12月
中東LPG指標:CP(ドル/トン)	375	430	450
北米LPG指標:MB(ドル/トン)	270	285	
為替レート:TTS(円/ドル)	106.27	105.41	
フレート(船賃):RIM(ドル/トン)	50.5	52.0	

●計算方法

基準原料価格 66,000円/トン

FOB価格 中東合成 CP 440.0^{ドル} × 70% + 北米 MB352.0^{ドル} × 30% = 413.6^{ドル}
 中東合成 CP (11月 CP430^{ドル} + 12月 CP460^{ドル}) ÷ 2 = 440.0^{ドル}
 北米 MB11月 MB285^{ドル} + 67^{ドル} (ターミナルフィー) = 352.0^{ドル}

フレート価格 (中東フレート 52.0^{ドル} × 70% + 北米フレート 96.2^{ドル} × 30%) + 2^{ドル} = 67.26^{ドル}
 中東フレート (RIMフレート) 52.0^{ドル}
 北米フレート (RIMフレート) 52.0 × 1.6倍 + 13^{ドル} (パナマ運河通行料) = 96.2^{ドル}

円換算 11月1日～末日 TTS 平均 105.41円/ドル

LPG輸入価格 (FOB価格 413.6 + フレート価格 67.26) × 105.41円 = 50,687.4526 → 50,700円/トン

当月原料価格 50,700円/トン + 石油石炭税 1,860円/トン = 52,560円/トン

原料費調整単価 (当月原料価格 52,560円 - 基準原料価格 66,000円) ÷ 1,000 ÷ 0.482 ÷ **▲27.8837...**

2021年2月ガス料金の原料費調整単価は1m³あたり▲27.9円(税別)です。(前月比+6.4円/m³)